



2026年7月1日

各位

会社名 DAIKO XTECH 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 松山 晃一郎  
(コード番号：8023 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役上席執行役員コーポレート本部長 CFO 間渕 剛志  
(TEL：03-3266-8111)

## 株式会社ミスミグループ本社、株式会社テクノアとの業務提携による 生産管理システム「rBOM」連携開始のお知らせ

当社は、株式会社ミスミグループ本社（以下、「ミスミ社」といいます。）及び株式会社テクノア（以下、「テクノア社」といいます。）との業務提携により、ミスミ社の商品データベースを本格実装した個別受注型生産管理システム「rBOM」の提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。

**DAIKO XTECH**

 **MISUMI**

 **株式会社テクノア**

現在、製造業では人手不足やデジタル人材不足を背景に、業務効率化と生産性向上を目的とした DX の推進が求められています。一方で、生産材の購買業務は取引先や品目が多岐にわたり、システム連携やマスタ整備に高度な専門知識・ノウハウが求められることから、中小製造業において個社ごとに外部データ連携を実装するための技術的な負担が大きく、購買業務の DX 推進における課題となっています。

こうした課題の解決に向け、当社は、生産管理システム分野において、テクノア社との合計で約 4,700 社の導入実績を有する強みを活かし、国内有数の生産材プラットフォームを運営するミスミ社と連携することで、中小製造業における購買プロセスの抜本的な変革と DX 推進を実現いたします。具体的には、生産管理システム「rBOM」とミスミ社 EC の商品データベースを直接連携し、見積・発注・納品の情報取得を自動化します。これにより、従来メールや FAX などで行っていた購買業務を効率化するとともに、利用者はこれまでの操作性を維持したまま、追加の手間なくミスミ社の商品データベースを利用した購買が可能となります。購買業務の効率化と業務負荷の軽減を実現することで、購買部門の生産性を最大 2 倍まで向上させることを見込んでいます。

なお、本業務提携の詳細につきましては、別紙をご確認ください。

今後も、当社グループでは、多様化する社会のニーズや課題の変化を的確に捉え、必要に応じて外部サービスや事業者とも連携を行いながら、最適な IT サービスの提供に努めてまいります。企業理念である「五方良し経営」に基づき、社会全体の DX をけん引することで、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

以 上

2026年6月30日

報道関係者各位

DAIKO XTECH 株式会社

## DAIKO XTECH、ミスミ、テクノアによる業務提携のお知らせ

生産管理システム「rBOM」とミスミ商品データベースがAPI初接続  
見積・注文・納品の自動化により最大2倍の生産性向上を目指す

DAIKO XTECH 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：松山晃一郎、以下 DXT）は2026年6月30日、株式会社ミスミグループ本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：清水新、以下ミスミ社）および株式会社テクノア（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役：山崎耕治、以下テクノア社）と業務提携しました。

本業務提携により、個別受注型生産管理システム「rBOM」にミスミ社の商品データベースを本格実装したバージョンの提供を開始します。

本取り組みは、ミスミ社の膨大な商品データベースを DXT の「rBOM」およびテクノア社の「TECHS-SNOA」と連携可能とするコンソーシアムモデルであり、部品調達の効率化を目的とした新たな業界標準の構築を目指すものです。



### ■コンソーシアムの背景

#### 購買現場のひっ迫と、「個社 DX」の限界

生産材の購買業務は、ものづくりに欠かせないプロセスです。この業務は、取引先や品目が多岐にわたるため、マスタ整備や運用設計、データの外部連携には専門的な技術知識やノウハウが求められます。そのため、人手不足・時間不足が深刻化している中小製造業では、生産性向上のための DX が急務となっている一方、個社ごとに外部データ連携を実装するには高い技術的ハードルがあり、DX が進まない要因となっていました。このような状況のもと、生産管理システムの分野で合計約 4,700 社の導入実績をもつ DXT とテクノア社、そして機械部品から消耗品まで 3,000 万点超の商品データベースを有し国内有数の生産材プラットフォームを持つミスミ社は、3社で連携し、中小製造業の購買プロセスの抜本的変革と DX 推進に取り組みます。

## ■「rBOM」とミスミ社 EC が”直接つながる”仕組みで生産性最大2倍を目指す

生産管理システムは、主に社内業務で使用されているため、外部への発注はメールや FAX などの手段に依存していました。そのため、見積取得や発注処理における社内外の”情報の行ったり来たり”が多発し、担当者の負担となっていました。

今回、ミスミ社 EC の商品データベースと rBOM が直接連携することで、見積・注文・納品情報の取得が自動化され、購買業務時間の大幅な削減が可能となりました。利用者は、これまで通りの操作性のままで、追加の手間なくミスミ社の商品データベースにアクセスして購買を行うことができます。これにより、購買部門の生産性を最大2倍にすることを見込んでいます。



## ■本サービスの特徴

### 1. 見積・発注・受入の工数を大幅削減

rBOM とミスミ社の商品データベースが直接連携することで、購買・受入業務の生産性を最大化します。

### 2. 「製番別納入サービス」に対応

rBOM からの発注は、「製番別納入サービス」を利用できます。製番管理を行う企業の業務効率化に寄与します。

### 3. 従来の操作性を維持

rBOM ユーザーは、従来の操作性を維持したまま新機能を利用できます。



**■導入計画**

現時点で「rBOM」「TECHS-S NOA」を利用中のユーザーのバージョンアップを含め、今後5年間で新たに国内1,000社超の導入を目指します。

**■ソリューション URL**

<https://www.daiko-xtech.co.jp/solution/rbom/rbom-v2/>

**【事業提携会社概要】****■DAIKO XTECH 株式会社**

(東証スタンダード、証券コード 8023 <https://www.daiko-xtech.co.jp/>)

- ・ 本社所在地：東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂 MN ビル
- ・ 設 立：1953年12月
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 CEO 松山晃一郎
- ・ 資 本 金：1,969百万円
- ・ 事 業 内 容：システムの設計・開発・運用やハードウェア・ソフトウェアの提案・販売、ネットワークの構築など、幅広い業務をワンストップで提供するシステムインテグレーターです。お客さまにとっての「価値あるしくみ」の創造をサポートしています。

**■株式会社テクノア (<https://www.technoa.co.jp/>)**

- ・ 本社所在地：岐阜県岐阜市本荘中ノ町8丁目8番地1
- ・ 設 立：1985年10月
- ・ 代 表 者：代表取締役 山崎耕治
- ・ 資 本 金：72.8百万円
- ・ 事 業 内 容：中小企業さま向けを中心に、医療機関さま向け、カスタム EC サイトさま向けなどの各種パッケージソフトを提供。IT 経営コンサルティングや伴走支援型サービスを通じて、お客さまの DX 実現に貢献しています。

**■株式会社ミスミグループ本社**

(東証プライム、証券コード 9962 <https://www.misumi.co.jp/>)

- ・ 本社所在地：東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
- ・ 設 立：1963年2月
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 清水新
- ・ 資 本 金：14,727百万円

- ・ 事業内容：ものづくりの現場で必要とされる機械部品から工具・消耗品まで3,000万点超をグローバルで製造・EC販売。さらにIT・AIを活用したデジタルマニュファクチャリングを展開し顧客時間価値を高めています。

【報道関係お問い合わせ先】

DAIKO XTECH 株式会社

ビジネスクエスト本部 マーケティング推進部 CS/営業推進課

担当：田村、平沢

TEL：03-3266-8171

E-mail：suishin@daiko-xtech.co.jp